

大雪等の対応に係る関係省庁災害警戒会議

議 事 次 第

日時：平成26年2月14日（金）

12:30～

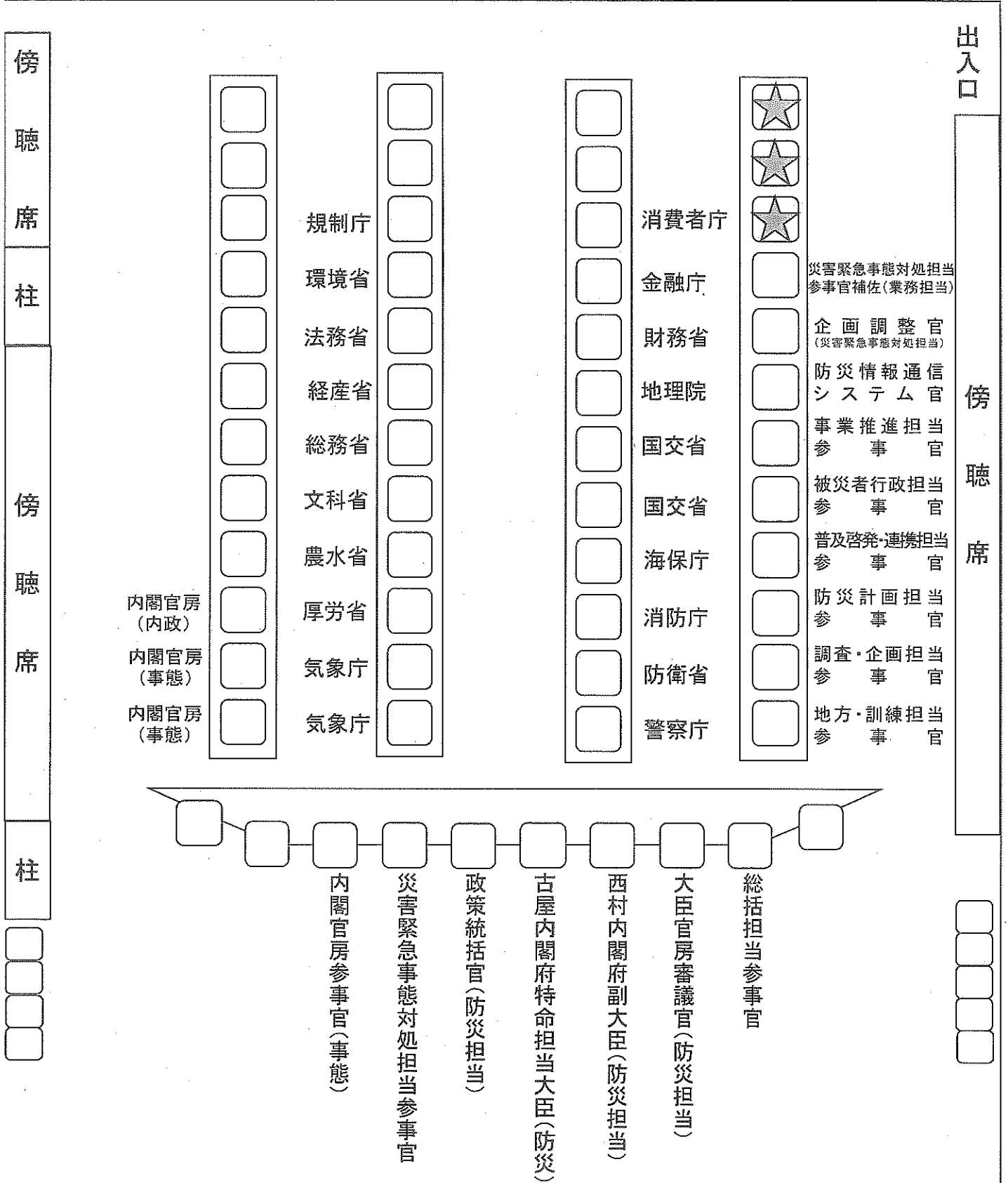
場所：中央合同庁舎第5号館3階
防災A会議室

1. 古屋内閣府特命担当大臣（防災） 挨拶
2. 今後の気象状況の見通しについて
3. 被害状況及び各省庁の対応状況について
4. その他

大雪等の対応に係る関係省庁災害警戒会議

配席図

平成26年2月14日(金)12:30~
於:内閣府防災A会議室



1 気象庁

今冬の積雪について

平成26年2月14日
気象庁

1

現在の雪の状況



【概況】

- ・北日本では積雪深が平年を上回っているところが多い。
- ・その他の地域では積雪深が平年を下回っているところが多い。

【積雪の深さ(2月14日9時現在)】

◆奥只見丸山(おくただみまるやま)

(新潟県) 453cm

◇悪沢(わるさわ)(群馬県) 402cm

酸ヶ湯(すかゆ)(青森県) 357cm (平年比 112%)

肘折(ひじおり)(山形県) 280cm (平年比 106%)

◎湯川(ゆかわ)(岩手県) 262cm

◇旭岳(あさひだけ)(北海道) 258cm

◇猿倉(さるくら)(長野県) 220cm

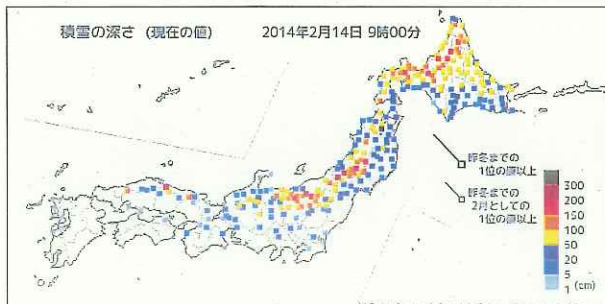
大山(だいせん)(鳥取県) 207cm (平年比 171%)

湯の岱(ゆのたい)(秋田県) 155cm (平年比 155%)

只見(ただみ)(福島県) 154cm (平年比 88%)

無印: 気象庁アメダス ◇ 国土交通省データ ◆ 防災科学技術研究所データ ◎ 自治体データ

積雪の深さ (気象庁アメダス)



積雪の深さの平年比 (気象庁アメダス)



2

秋田の積雪の状況 (2014年2月14日9時現在)



横手の月最深積雪
歴代ランキング

1. 192cm(2011/2/1)
2. 191cm(2011/1/31)
3. 179cm(2014/1/14)
4. 176cm(1986/2/6)
5. 175cm(2013/2/26)
(1979年10月～)



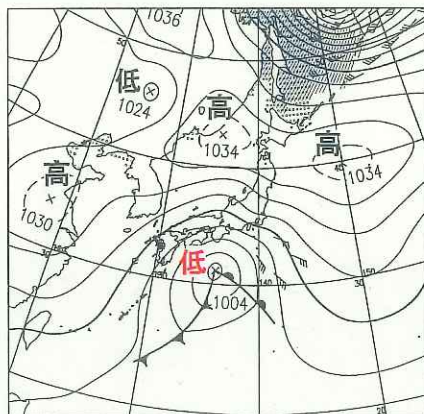
湯沢の月最深積雪
歴代ランキング

1. 175cm(2011/2/1)
2. 172cm(2011/1/31)
3. 144cm(2014/1/23)
4. 143cm(1986/2/26)
5. 140cm(2013/2/26)
(1985年12月～)

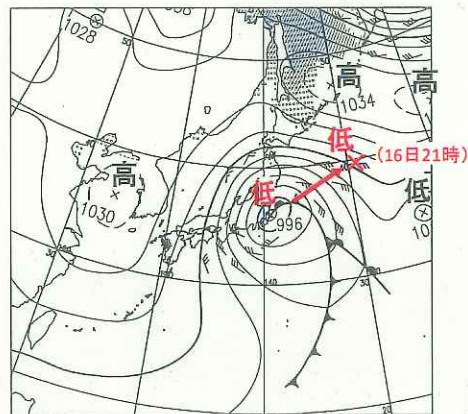
— 日最深積雪(cm)今季 ● 平年値 - - 昨季

16日にかけての大雪と暴風雪及び高波について

- 前線を伴った低気圧が、16日(日)にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進む見込み。
- 東日本と西日本は15日(土)にかけて、東北地方は15日から16日にかけて広い範囲で雪が降り、太平洋側を中心に大雪となるおそれがある。
- 14日から16日にかけて、西日本から北日本の広い範囲で風が強まる見込み。特に東日本から東北地方にかけての太平洋側の沿岸部や伊豆諸島では非常に強い風が吹き、海は大しけとなる見込み。
- 大雪による交通障害、暴風や暴風雪、高波に警戒。路面の凍結、着雪、なだれにも注意。



予想天気図 2月14日21時



予想天気図 2月15日21時

海水域

■雪

15日06時までの24時間降雪量(多いところ)

- ・関東甲信地方、東海地方 50センチ
- ・近畿地方 25センチ
- ・四国地方、東北太平洋側 20センチ
- ・東京の予想 : 23区 10センチ 多摩北部・南部 20センチ 多摩西部 40センチ

◎その後も16日にかけて東北太平洋側を中心に降雪量がさらに増える見込み。

■風

15日にかけて予想される最大風速

- ・東海地方 陸上 20メートル 海上 25メートル
- ・関東地方 陸上 18メートル 海上 22メートル
- ・東北太平洋側 陸上 15メートル 海上 23メートル
- ・近畿地方 陸上 15メートル 海上 20メートル

◎雪を伴い、暴風雪となるところがある見込み。

◎東北地方では海上を中心に、16日にかけて風の強い状態が続く見込み。

■波

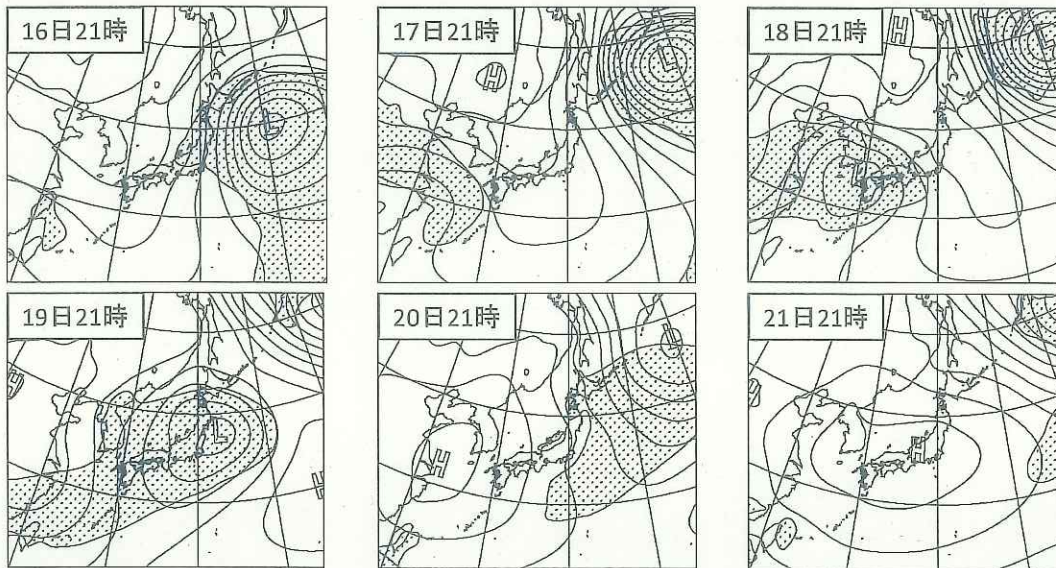
15日にかけて予想される波の高さ

- ・関東地方、東北太平洋側 7メートル
- ・東海地方 6メートル
- ・近畿地方 5メートル

◎東北地方や関東地方を中心に、16日にかけて波の高い状態が続く見込み。

今後1週間の天気推移

○15日から21日にかけての天気は、北日本と、東日本や西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で雪または雨の日が多い見込み。東日本や西日本の太平洋側は、気圧の谷や寒気の影響で、15日と18日から19日にかけては、雨または雪の降る日がある見込み。
○16日にかけては、発達する低気圧の影響で、北日本や東日本を中心に荒れた天気となる見込み。



秋田の週間天気予報

15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金
-2/3	-2/2	-1/3	-3/3	-3/4	-2/4	-2/4
50/70/80/60	70	50	30	70	60	40

東京の週間天気予報

15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金
1/14	4/11	4/11	3/9	2/10	5/11	3/10
90/90/60/20	20	20	40	60	20	20

【3月7日までの見通し】

1か月予報(2月7日発表)

向こう1か月(2月8日～3月7日)の日本海側の降雪量は、

- ・北海道と東北では、
平年並か少ない見込み
- ・北陸では
ほぼ平年並の見込み
- ・近畿日本海側と山陰では
平年並か多い見込み。

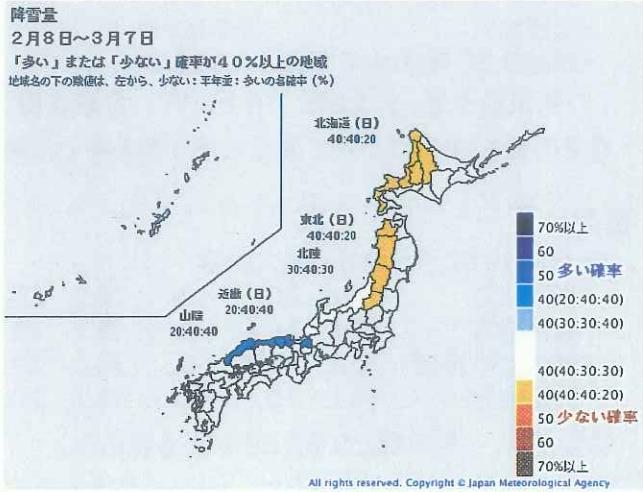


図 向こう1か月(2月8日～3月7日)の降雪量の確率予報分布図

なお、2月17日から2月26日を対象とした異常天候早期警戒情報は発表しておらず、この期間の日本海側の降雪量は、かなり多くはならない見込み。

※ 異常天候早期警戒情報は、原則火・金曜日14時30分発表。次回発表日は2月14日。
1か月予報は、毎週金曜日14時30分発表。次回発表日は2月14日。

(参考)2月7日から9日にかけての大雪



※極値・順位を更新した観測所

観測所	最深積雪	記録(統計開始年)
前橋	33cm	歴代3位(1896年以降)
熊谷	43cm	歴代2位(1896年以降)
東京	27cm	歴代8位(1875年以降)
千葉	33cm	歴代1位(1966年以降)

今冬期の大雪等による被害情報（第3報）

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。
※下線部は、前回からの変更箇所。

1. 文部科学省関係の被害情報（2月14日10時30分時点）

(1) 人的被害

・現在のところ、学校管理下における被害の情報なし。

(2) 物的被害

都道府県名	国立学校施設 (校)	公立学校施設 (校)	私立学校施設 (校)	社会教育・体育、 文化施設等 (施設)	文化財等 (件)	研究施設等 (施設)	計
茨城県	1	1					2
静岡県	1						1
広島県		1					1
計	2	2					4
3県	大学 1 共同利用 1	小 2					

・主な被害状況：プールのテント屋根の傾斜、設備損傷 等

2. 文部科学省の対応

- ・各都道府県教育委員会等関係機関に対し「降積雪期における防災態勢の強化等について」の通知を发出（平成25年12月19日）。
- ・今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁災害警戒会議に担当官が出席（同年12月25日）。
- ・全国の都道府県教育委員会（四国地方、九州地方を除く）に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（同年12月26日18時10分）。
- ・全国の都道府県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（平成26年2月6日18時00分）。
- ・全国の都道府県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（平成26年2月13日11時30分）。

3. 今後の対応

引き続き教育委員会等と連携を密にしつつ、被害状況等の収集に努める。

＜担当＞ 文教施設企画部施設企画課防災推進室
室長 富田 大志（内線2988）
専門官 松下 洋介（内線3674）
電話：（代表）03-5253-4111（直通）03-6734-2290